

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
 Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1150号
 2010年1月24日発行
 日本聖公会東京教区
 港区芝公園3-6-18
 編集人 英 久子

◇1月の代祷・信施奉献先
 ▽主教座聖堂の働きのため▽エルサレム教区の働きのため▽視覚聴覚障害者伝道のため▽聖救主福祉会(深川愛の園・まこと保育園)のため▽タイのHIV感染者及びAIDS発症者支援のため
 《奉献先から》

主教座聖堂の働き

聖アンデレ教会礼拝堂を中心に、教区主教が行う礼拝や学習を行うのが主な働きです。聖職按手式や復活前主日、昇天後主日、降臨節第3主日の午後に行う合同聖信式、毎月第3水曜日の教区逝去教役者記念聖餐式、降臨節前週や被献日前夕の礼拝(今年は31日)などの下準備、企画立案を行っています。また08年度から引き続き、新しく教会に赴任された聖職

候補生や執事とともにインサービストレーニングを実施しています。現在は、毎月竹内謙太郎司祭のご協力で聖職の基本について学びを深めています。聖アンデレ教会の協力で礼拝関係の諸聖真などの整備も行っています。(主教座聖堂理事長・司祭 大畑喜道)

▽一羊会の集まり(人権を守るための対話)「人権と平和とかけがえない生命を見つめて」。

話し無実の死刑囚を支援するピー

ス・シンガー門間幸枝。30日(土) 10時半〜12時半。聖バルナバ教会。席上献金。照会☎042(393)2256・世話人森田麻里子。
 ▽関東三教区生野委員会第40回日韓の歴史を学ぶ会。聖公会生野センターを訪ねる旅。2月19日(金)〜21日(金)日。参加費¥5千円(旅費と宿泊・食費の一部自己負担)。定員¥20名(1月31日締)。申込・照会☎048(471)6638(香山人)。

今週・来週の予定

1月24日~2月6日

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 24(日) | 頭現後第3主日
城南G教会協議会 |
| 25(月) | ハラスメント防止委員会
財政委員会
聖職養成委員会 |
| 26(火) | 教財務サービス委員会
銀座朝樺会 |
| 27(水) | 教役者聖餐式 |
| 29(金) | 聖職按手式
リトリート |
| 30(土) | 教区企画室
聖職按手式 |
| 31(日) | 頭現後第4主日
被献日前の光の礼拝 |
| 2月 | |
| 2(火) | 被献日 |
| 3(水) | エルサレム教区
協働委員会 |
| 6(土) | エルサレム協働
準備会 |

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

人間は神によつて造られました。しかし人間は弱い者で、一人では生きて行けません。そこで人々は仲間を作りお互いに励まし助け合いながら生活する様になりました。ただ仲のいい関係だけでなく互いに相手を尊敬し、信頼し合う仲にならなければ本当の仲間とはいえません。これが「汝の隣人を愛せよ」の姿だと思えます。とくにお互いに信頼し合う「相互信頼」が大切だと思います。昔から「胸襟を開いて」とか「腹を割って」とか色々な言葉がありますが、うわべだけの事では意味がなく本当の意味の相互信頼をお互いの努力で築いていかなければならないと思います。この相互信頼の精神が社会の組織の中で形成されている所は強い組織になっており経済が悪化している現在でも立派に頑張

《み手のなかで》

相互信頼

つていると思います。教会とは主イエス・キリストを唯一の神と信じ信仰する人々が集まり祈る場所といえると思います。それゆえに教会にはいるんな人たちが集まります。その人たちが「平和の挨拶」を交わし皆仲良く信仰の道に励んでいると思えます。しかし、ただの仲良し友達ではなく相互に信頼し合う、いわゆる「相互信頼」の関係にまでならなければ本当の意味の仲間とはいえないのではないのでしょうか。しかし「相互信頼」を築くにはある程度の時間が掛かりますが、皆で努力してこれを成し遂げなくてはならないと思います。皆が仲良く楽しく生活してゆく為にはこの相互信頼を築く努力を怠らず励んでいかなければならないと思っております。(聖パウロ教会信徒)

植田仁太郎主教様は、1月16日の会合の途中で体調を崩され、緊急入院されました。大動脈解離との診断。安静が求められております。快復には、今しばらく入院しての検査と治療が必要とのこと。主教様のためお祈りいたしましょう。(常置委員会)

常置委員会報告(1月15日)

*30日司祭按手式、ランドル・ノーラン司祭帰国後の聖オルバン教会将来像を関係者と協議、小笠原聖ジョージ教会へ巡回(6~11日)、新しい聖地旅行へ同行する等の主教報告。

*09年末(暫定)財務諸表による財務報告、管区聖職試験日程、韓国2司祭の家族来日等、主教チャブレン、各主事報告を了承。

*月島聖公会・聖ルカ保育園将来計画準備室会合の報告を受け、16日説明会の段取り等を了承。

*諸委員・委員長等委嘱の主教

諮問を基本的に了解。次回委員会

で委嘱一覧表により確認する。

*定年退職後さらに職務につく宣教主事の職名・待遇等を審議

*その他。

▽司祭按手式 公示通り卓志雄執事が司祭職へ叙任される。今週

30日(土)14時、聖アンデレ主教座聖堂で、説教者は竹内謙太郎司祭(聖テモテ教会囑託)。前日29日(金)10時~16時半、ナザレ修道院でリトリート(指導=三鍋裕横浜教区主教)。

▽被献日前の光の礼拝《キヤンドルマス》 主教座聖堂活動委員

会により、1月31日(日)17時、聖アンデレ主教座聖堂で。山口千寿司祭(聖パウロ)説教。

▽被献日礼拝(2月2日・火)

① 目白聖公会婦人会主催 10時半・聖餐式、目白聖公会。司式・河野裕道司祭、説教・上田亜樹子司祭(立教・諸聖徒)。信施奉献先は東アフリカの子どもを救う会。軽食後は上田司祭との懇談と奉献先からの報告を聞く。照会 03(3951)5010。

② 教区・一粒の麦の会主催 10時半・聖餐式、聖アンデレ教会。司式・大畑喜道司祭、説教・神崎和子司祭(聖アゲネス)。奉献先はきぼうのいえ。昼食後はお話・植松功「歌いつづける心」。全体会議。感謝箱献金、リストコインを受付。照会先 教区事務所。

【クローズアップ】36

次期教区主教選挙について

現東京教区主教は、来年の2011年3月末をもって定年退職となります。そのため東京教区では憲法規の規定により、今年2010年4月1日以降、教区会を開いて主教選挙を行うこととなります。

現在、この主教選挙のために設置された「東京教区主教選挙特別委員会」で、主教選挙に向けて準備をしています。この「東京教区主教選挙特別委員会」は、かつて2005年3月の第100教区会で決議された「東京教区主教選挙特別委員会規則」にもとづき、昨秋、設置されたもので10人のメンバーで構成されています(聖

職4人・各教会グループ推薦の信徒6人)。任期は、教区主教選出教区会の開会時までとなっています。

この特別委員会の規則では、「主教職についての学習会」「教区の現状と宣教課題についての懇談会」「主教候補者の推薦理由を聴く会」の開催が求められており、東京教区の信徒・信徒に対して、これらの会の開催の周知と内容の報告、そして選挙の備えとなるその他の広報活動に努めること、とされています。

この設置規則により今回設置された特別委員会では、昨年11月より選出された委員で話し合いを開始し、活動を進めつつあります。現在、まず具体的に予

定していますことは、すでに各教会や礼拝堂にご案内しておりますが、来る2月20日(土)午前10時30分より12時まで、聖アンデレ主教座聖堂での「主教職について学ぶ」集いです。この学びの会では、東北教区前主教の佐藤忠男主教と東京教区主教の植田仁太郎主教のお話を聴き、主教職についての学びを深め合います。どなたでも出席できます。

今年、行われる東京教区主教選挙に向けて、祈りをもって聖霊の導きを求め、共に聖なる公会のうちに一つとなって、私たちの東京教区主教選挙に臨んでまいりたいものです。

東京教区主教選挙特別委員会
委員長 司祭 高橋 顕